団体名（正式名称）

公益財団法人　日本自然保護協会

NACS-J
日本自然保護協会

代表者名	理事長　土屋俊幸
担当者名	高川　晋一
住所	〒104-0033　東京都中央区新川1-16-10ミトヨビル2F
電話番号	03-3553-4101
FAX番号	03-3553-0139
HPアドレス	http://www.nacsj.or.jp
SNSアカウント	下部に記載の二次元バーコードのとおり
代表メールアドレス	nature@nacsj.or.jp
交通アクセス	東京メトロ東西線・日比谷線／茅場町駅より徒歩8分
職員数	28人
団体の理念	日本自然保護協会のミッションは、くらしを支える日本の自然の豊かさを守り、その価値を広め、自然とともにある社会をつくること。人と自然がともに生き、美しく豊かな自然に囲まれ、笑顔で生活できる社会をつくることを目指して活動しています。
団体の活動内容	1949年の尾瀬ヶ原の保護運動を契機として、広く日本の自然を守るために1951年に「日本自然保護協会」に改組し、白神山地や小笠原の森林開発問題、長良川や川辺川などの河川問題、野生生物の保護など全国各地の自然保護問題に取り組んできた。これまでに世界遺産やレッドデータブックといった新たな制度の国内導入や、国際的に重要な場所の開発問題の解決を実現したほか、保全上重要な場所を世界遺産・ラムサール条約湿地等へ登録する地元地域支援や国との共同管理プロジェクト、各種法制度改正のための政策提言等に取り組んでいる。また地域の自然のしくみや価値を解明するための市民参加のモニタリング手法の普及や、地域の自然保護の担い手である「自然観察指導員」の養成にも40年以上取り組んでいる。さらに国際自然保護連合の日本委員会事務局を務め、国際会議等でのロビーイングやイベント開催を通じたあらたな制度づくりにも取り組んでいる。

X　Facebook　Instagram

公益財団法人　日本自然保護協会

プログラム名	ネイチャーポジティブ実現に向けた国際目標と地域をつなぐ自然保護活動の推進
インターン生の活動内容（概要）	当会では全国規模の人的ネットワークを活かした自然保護活動を多数実施しており、このうち2025年度のインターンシップでは、新たな世界目標であるネイチャーポジティブの実現を加速させるための事業に参画頂きます。具体的には①生物多様性条約締約国会議などの国際的な自然保護情報の収集と国内NGO・市民セクターへの情報共有・普及啓発活動の業務補助、②全国の各市区町村と企業等とのパートナーシップを構築しながら地域単位でのネイチャーポジティブにむけた取組みを進めていく業務の補助、などを予定しています。 フィールドワーク　□ あり
インターン生の活動内容（詳細）	・国際会議や生物多様性施策に関する国際動向についての、国内NGO・ユースセクターとの情報共有・政策対応会議の開催とその運営補助、国際会議等の資料の翻訳や普及啓発ツールの作成業務などを予定。 ・ネイチャーポジティブ実現にむけて取り組もうとする自治体や企業に向けた支援プログラムの実施補助。各自治体の政策・自然関連情報の分析と収集、各地域の自然資源に依存する企業活動の情報整理、地域の自然資源を活かした社会課題解決・自然保護活動の方向性の検討等に関する業務などを予定。
インターン活動で得られるもの	・自然保護の新たな国際目標やその国内での施策展開や民間活動支援、企業の自然関連情報開示、生物多様性の評価手法など、自然保護の最前線の知見が得られます。 ・政府・研究機関・自治体・市民団体・ユース団体など多様な主体との交流の機会が得られます。 ・上記を通じて、データ処理や資料作成・情報発信のスキル、対人関係構築のための心構え、課題解決のための主体性を身に着けていただけることを期待します。
インターン生への希望・期待	日本自然保護協会では、国内の様々な自然保護活動にスタッフ一丸となって取り組んでいます。この活動を特に若い方を中心に広めていくために、若いインターン生の皆さんだけが持っている熱意とセンスを、最大限活かしていただけることを大いに期待しています。本インターンによって参加者の意識・経験が大きく変わり、将来どんな職業につかれても自然保護活動の一役を担ってくれる方に成長してもらえると幸いです。また、担当業務以外からも様々な自然保護の活動を学ぶことも可能ですので、担当するプロジェクト以外にも積極的に関心をもち、他職員とも会話をしていただく積極性を期待します。
活動時間	2025年7月～2026年1月末
特記事項	